

決算報告書

(第 5 期)

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

JAL ビジネスアビエーション株式会社

東京都大田区羽田空港1-11-2

日本航空羽田整備ビル7F

株主資本等変動計算書

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日

(当期累計期間)

JAL ビジネスアビエーション株式会社

PAGE: 4

(単位:円)

	株主資本						株主資本 合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	100,000,000	50,000,000	23,115,070	73,115,070	△77,432,524	△77,432,524	95,682,546	95,682,546
当期変動額								
当期純利益					13,317,239	13,317,239	13,317,239	13,317,239
当期変動額合計	0	0	0	0	13,317,239	13,317,239	13,317,239	13,317,239
当期末残高	100,000,000	50,000,000	23,115,070	73,115,070	△64,115,285	△64,115,285	108,999,785	108,999,785

注 記 表

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日

(当期累計期間)

JALビジネスアビエーション株式会社

PAGE: 5

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有形固定資産

建物及び建物附属設備：定額法によっております。

器具及び備品：定額法を採用しております。

車両運搬具：定額法を採用しております。

②無形固定資産

定額法によっております。

(2) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①外貨建資産の本邦通貨への換算基準

外貨建短期金銭債権債務については、期末時の為替相場により円換算している。

②リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

③消費税等の会計処理

税抜き方式によっております。